

■平成28年度グループ別防災訓練予定は下記の通り実施予定です！

2月 5日	稲葉・北納屋・浜町グループ	企業の防災体制の説明会
2月26日	南納屋・西末広グループ	消火訓練
3月 5日	尾上グループ	防災倉庫の点検訓練
3月10日	中納屋・蔵町・相生グループ	防災倉庫の点検訓練
3月11日	高砂・千歳合同グループ	消火栓取り扱い訓練・消火訓練

防災反省会

平成28年11月8日に港地区での訓練（ワールドカフェ、津波避難夜間訓練）の反省会を開催しました。今回初めて実施したワールドカフェのアンケートの集計と分析結果の報告があり、いろいろな意見がでました。今後この手法を継続して行い参加者の意識の変化を見守っていったらどうか、という意見もありました。夜間訓練は活発な意見が出ました、例えば、階段の登り下りの整理ができていなかった・高齢者には階段の昇降はしんどい・避難場所はなやプラザだけでいいのか？・市民防の人は要援護者に配慮ができていた、等々の意見でした。この結果を次回の訓練に生かせる訓練の企画を行って行きたいと思えます。今回の反省会に参加、また意見を述べてもらいましたことに、感謝いたします。

■平成29年度の自主防総会予定

自治会・企業代表者会議	5月12日	午後1時30分	本町プラザ
港地区自主防災組織連絡協議会 総会	6月11日	午前9時30分	本町プラザ

《防災委員》（敬称略・五十音順）

飯田 剛生	家城 宏光	奥村 吉孝	笠井 得生	加藤 亘	小崎 重夫	小林 栄一
嶋田 武文	島村 博	清水 泰次	堤 利臣	寺井 勝	豊田 成彦	橋本 幸生
長谷川 雄俊	羽多野 隆	林 重雄	藤村 まさみ	星野 匡彦	町田 光夫	三浦 恭久
三島 誠	山内 達生	山田 鏡明	吉田 耕太郎			

《防災連携企業》（五十音順）

石井燃商(株)	伊勢湾倉庫(株)	(株)エネックス	おのえ作業所	風薫会
協同海運(株)	九鬼産業(株)	九鬼肥料工業(株)	コスモ石油(株)	佐藤クリニック
三エスゴム(株)	JSR(株)	昭和電工ガスプロダクツ(株)		住友電装(株)
第一工業製薬(株)	大成建設(株)	大宗建設(株)	太平洋セメント(株)	高砂建設(株)
中部海運(株)	中部電力(株)四日市火力発電所		中日本建設(株)	東ソー(株)
東邦ガス(株)	東陽興業(株)	日本板硝子(株)	日本海事検定協会	日本カニゼン(株)
日本貨物鉄道(株)	日本通運(株)	日本トランスシティ(株)		
(株)ニヤクコーポレーション		林興業(株)	三菱化学(株)	四日市海運(株)
四日市電機(株)	四日市港郵便局			



# 港 防災だより

No.23

2017年（平成29年）3月20日

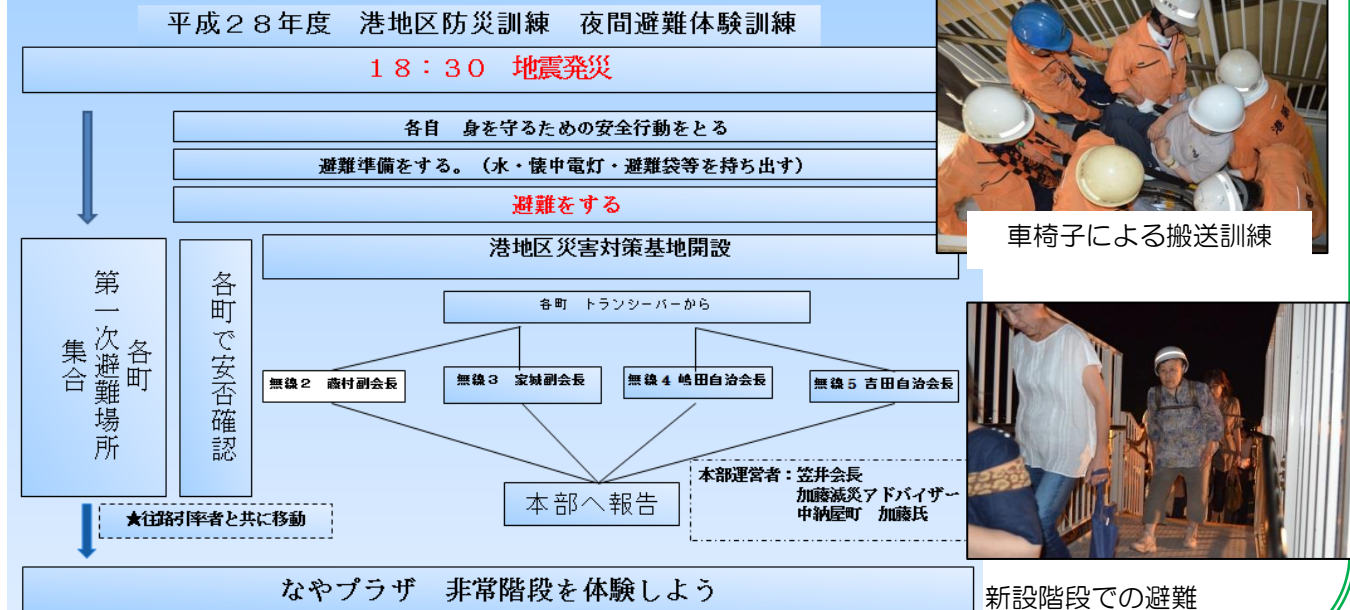
発行人／四日市市港地区自主防災組織連絡協議会 会長 笠井 得生

『港 防災だより』について  
 港地区には、防災を考えるうえで多種多様な問題が存在しております。  
 （例：埋立地（地震に弱い）、海岸線（津波に弱い）、臨海コンビナートに近接、住民の高齢化。  
 これらの問題に対処して行く為に重要なことは、住民／企業／行政の相互理解とそれに基づく活動であります。そのためには、日頃、この三者が防災に対する情報を共有し、活動することが重要であり、その一助としてこの防災だよりを発行しております。

## 港地区津波避難 夜間訓練

8月21日（日）18時30分地震による津波発生を想定し、各町責任者による安否確認数及び避難者数を集計し、あらかじめ決められた情報伝達経路にて本部に報告され、各町は、なやプラザに向けて避難を開始しました。なやプラザ到着後、各町責任者に最終安否確認情報と避難者情報を報告後、新設された階段を使用して建物屋上へ避難しました。第2市民防の皆さんには、車イスでの搬送訓練にチャレンジしてもらいました。反省会では車イスは非常に重く、イザと言うときには車イスと人間は別々に運び上げるのが良いのではないかとの意見も出ました。屋上で夏の夜風に当たり一休みした後、炊き出し訓練の「アルファ化米ワカメご飯」と「豚汁」の試食を行いました。今回の訓練は、避難所運営マニュアルに沿って行い、炊き出し班は稲葉町、相生町の男性陣にもがんばってもらいました。今回の夜間訓練の結果、各町の安否確認数は1,015名、避難者人数は262名でした。初めての夜間訓練でしたが沢山の人が参加し、無事に終了することができましたことに感謝致します。

タイムスケジュール



## ■【平成29年【文化財『鯨船 明神丸』消防訓練】

1月29日(日)

《文化財防火デーにかかる訓練》は高砂町「浜松茂」、中納屋町「大入道」、南納屋町「鯨船 明神丸」を対象に、毎年行われています。本年度は南納屋町「鯨船 明神丸」の年に当たり、1月29日に実施されました。

訓練の想定は、「南納屋町集会所から出火し、住民の初期消火にもかかわらず、火災は延焼拡大し、鯨船山車収蔵庫へ被害が危惧され、地区住民・市民防災隊・消防隊との消火活動と合わせ、鯨船搬送が急務状況である」であり自治会(保存会)により、①火災発見119番通報②消火器での初期消火③鯨船の搬出搬送を行った後、出動指令を受け、各隊「港第二市民防災隊」「海上分団」・「中消防隊」が出動し放水訓練を行いました。

終了後は資機材を撤収後、講評隊形に整列して「点検報告」し、訓練講評を「中消防署・署長」、「港地区連合自治会・笠井会長」、「南納屋町自治会・加藤副会長」から頂きました。講評終了後、「各隊解散」となり訓練は終了となりました。

皆様、寒い中、「鯨船搬出&消火活動」お疲れ様でした。

**【イザッ！ 非常時に備え、皆で訓練をしっかりと行ないましょう！】**



放水訓練の様子

# トピックス

## ■全国自主防災組織リーダー研修会に参加して

平成28年度 全国自主防災組織リーダー研修会



一般財団法人 日本防火・防災協会主催の平成28年度全国自主防災組織リーダー研修会が平成28年12月1日・2日の両日に渡り開催されました。

全国47都道府県より96名と他に3名の随行者の参加でした。

三重県からは伊勢市の宮後自主防災隊と港地区自主防災組織協議会会長・副会長と地域マネジャーの3名で参加しました。

主催者側の挨拶に続き、NHK解説主幹山崎氏による「地域の防災力を高める」の講演の後、香川県丸亀市川西地区自主防災会の「地域に密着した自主防災活動〈継続の秘訣〉について」と題する活動発表があり、潤沢な資金に基づいた資機材の整備状況が報告された。

次に港地区自主防組連絡協議会のこれまでの活動について発表を行いました。

港地区の防災スローガンである「防災と福祉が一体化したまちづくりをめざして」に対して、住民・企業・防災NPO・行政による4者で連携した防災活動、そして地区を上げて「よってたかって考え行動する」を中心に港地区の活動をPRしました。余談ですが、いきいきサロンで歌われている「津波避難の歌」(桃太郎の替え歌)を披露し、全員で歌ってもらいました。

二日目の分科会は秋田県・福島県・神奈川県・長野県・三重県・和歌山県・兵庫県・広島県・長崎県でのグループ討議を行いました。各県とも、いろいろな悩み問題点を抱かえ、自主防の運営に苦労していることが共感できました。

自主防の運営には決まった答えが無く、これまでの港地区で継続した取り組みを深化させ、各々でベストを尽くせば良いとおもいました。